



神戸市立王子動物園(神戸市灘区)で、フラミンゴのひなが次々と誕生している。親鳥の足元で元気づくと歩く愛らしい姿が、入場者を楽しませている。

同園は、ヨーロッパフラミンゴとベニイロフラミンゴ計約180羽を飼育。1983年からの総繁殖数は全国一を誇り、毎年、4〜7月に10羽前後が誕生する。

ふわふわの羽で愛らしい姿を振りまくフラミンゴのひなⅡ王子動物園

## フラミンゴ

### ひな次々誕生 神戸・王子動物園

ひなは普段、親の羽の中にくるまれているが、時折立ち上がっては、ふわふわの羽を動かすなど元気いっぱい。しばらくは親鳥から栄養たっぷりの分泌液「フラミンゴミルク」を口移しでもらって大きくなるという。

週3回は様子を見に来るといふ真殿和子さん(64)神戸市東灘区Ⅱは「成長はあつという間。すくすく育つ様子を見るのが楽しい」と話した。

(長江優咲)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

### 学びポイント

・「フラミンゴミルク」は何色? どうやってのませるのでしょうか。調べてみましょう!

### 名前

①王子動物園のフラミンゴについて、次の文の( )内に数字や言葉を書きましよう。

王子動物園では( )種類のフラミンゴ約( )羽を飼育しており、( )月( )日から( )月に約( )羽のひなが誕生する。1983年からの総繁殖数は全国( )位だ。

(横書き)


③見出しの一部をかくして見ます。この記事に合う見出しを3種類考えて書きましよう。

③記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましよう。